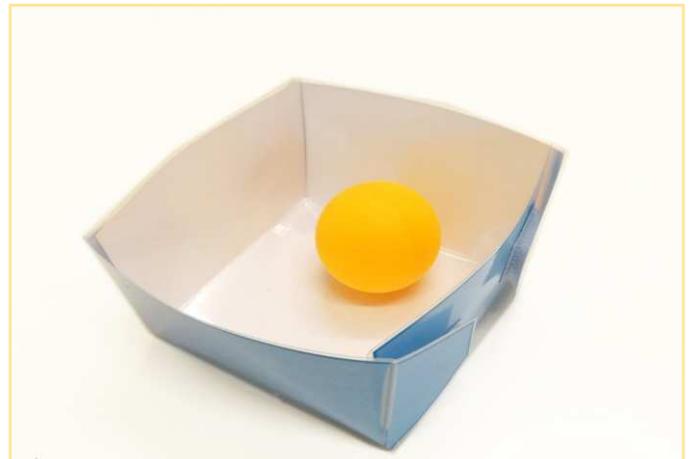


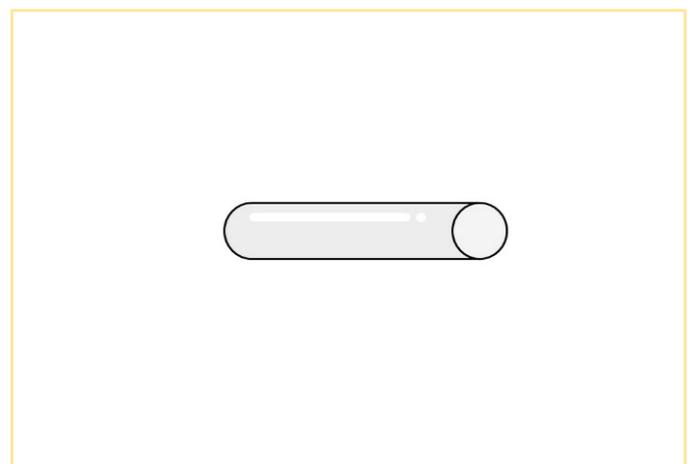
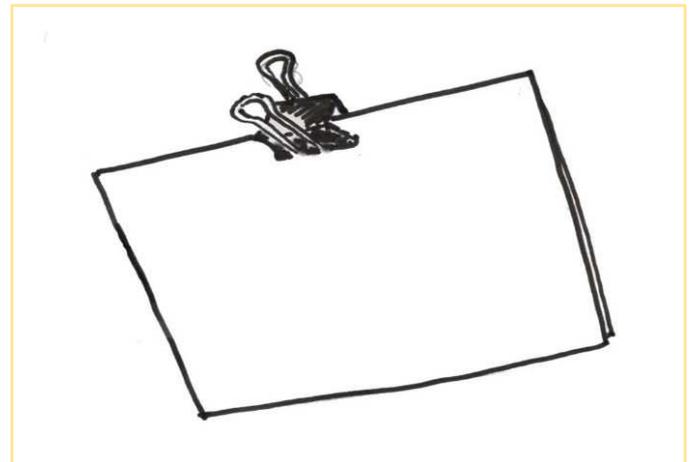
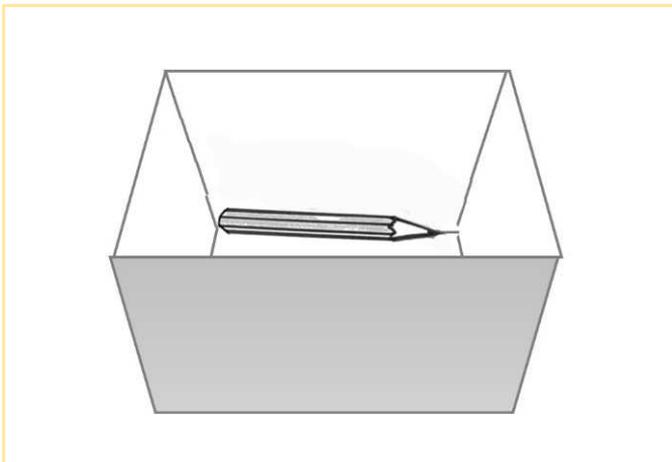
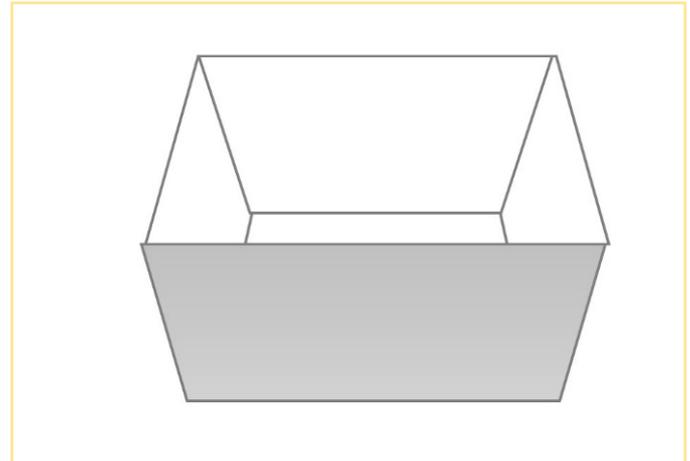
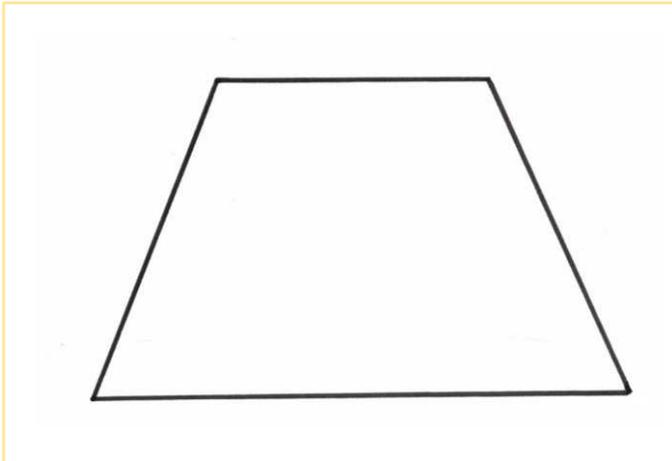
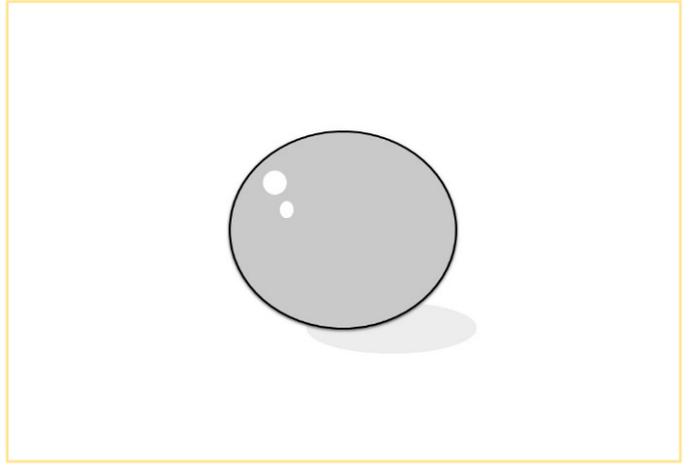
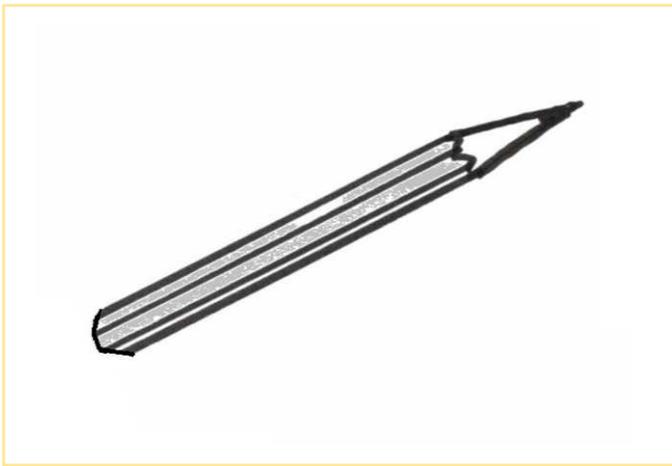
簡易版情報理解のアセスメントツール作成キット

【必要な物】

- ・えんぴつ ・キャップ(2個・透明)
- ・卓球ボール(2個・オレンジ)
- ・クリップ(2個)
- ・コピー用紙(A4用紙を4つ折り)
- ・小さな瓶と、それに入る小さなチップ(10個)
- ・ホワイトボードマーカー



※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。



※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。

えんぴつ

ぼーる

くりっぷ

きやつぷ

かみ

はこ

ぼーる
をください

ドアをノック
しなさい

はこをゆかの
うえにおきなさい

鉛筆を箱の中に
いれなさい

【言語指示用】

- ・鉛筆をください
- ・ボールをください
- ・箱をもちなさい
- ・箱を床の上におきなさい
- ・鉛筆を紙の上におきなさい

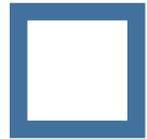
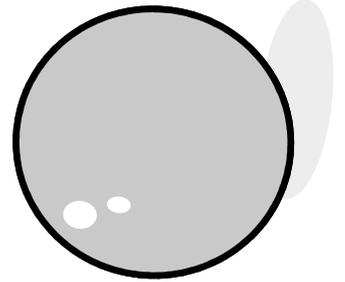
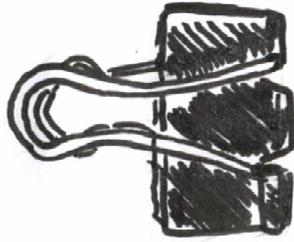
【説明・抽象的な言葉・慣用句】

- ・首を長くして待つ
- ・犬もあるけば
棒にあたる
- ・のどから手がでる
- ・五十歩百歩
- ・椅子
- ・大きい・小さい
- ・それとって
※動作も入れて指示
- ・きれいにする
- ・妖怪
- ・光合成

□ えんぴつ

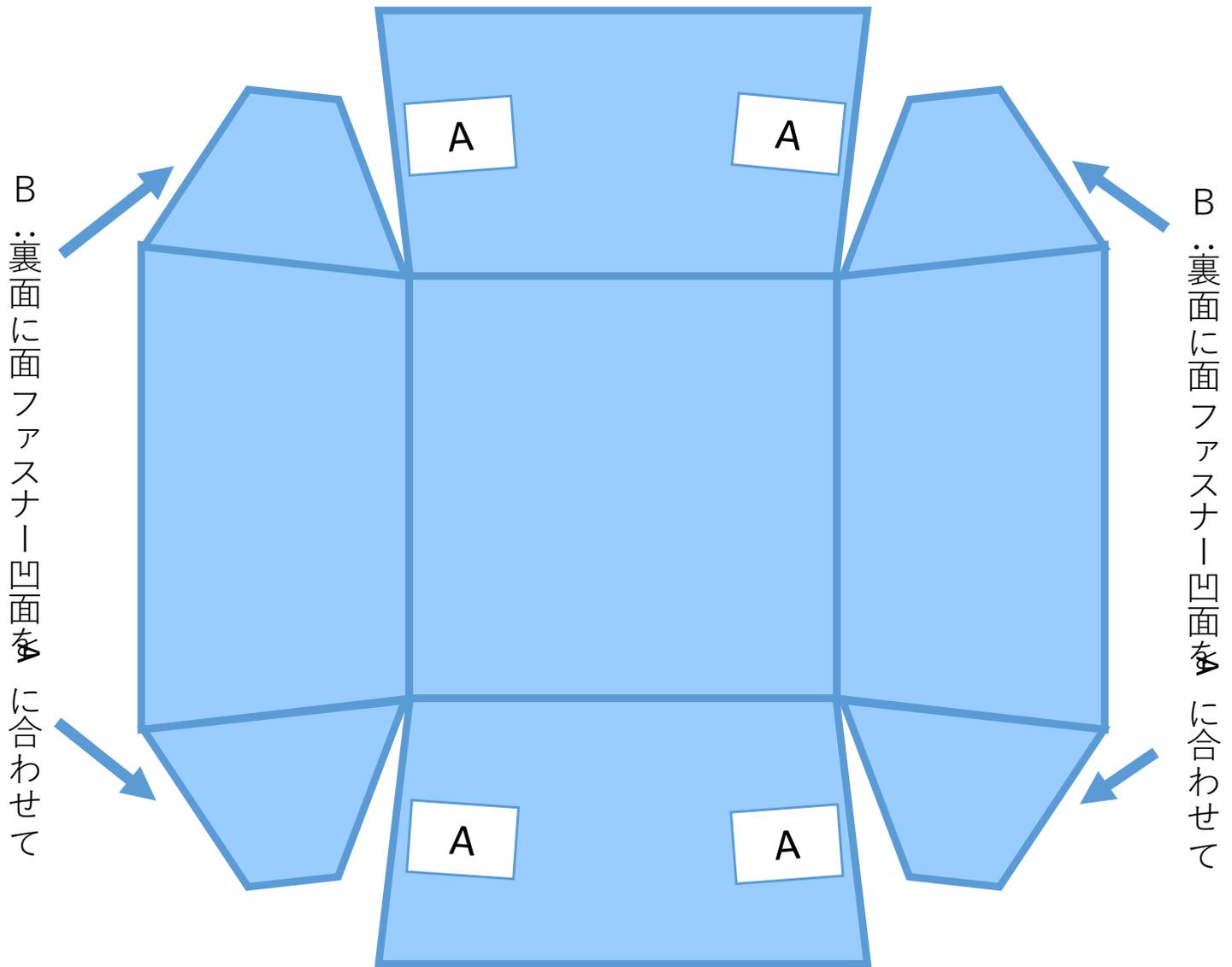
□ くりっさつ

□ ほーる



簡易版情報理解アセスメントツール具体物（箱）

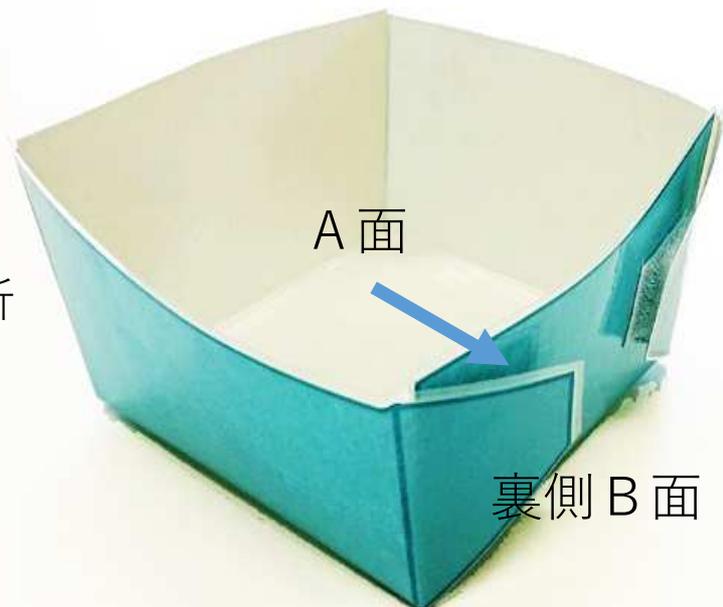
A：面ファスナー凸面

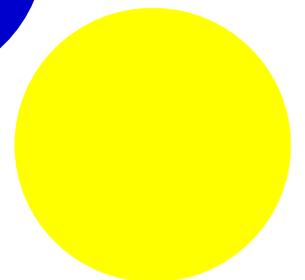
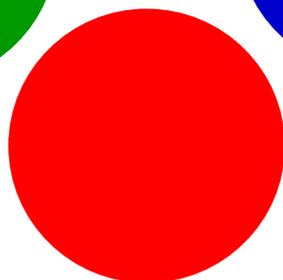
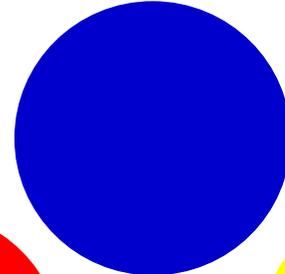
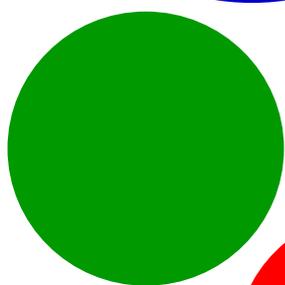
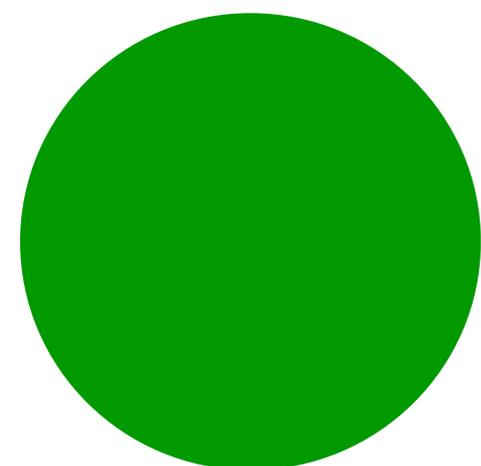
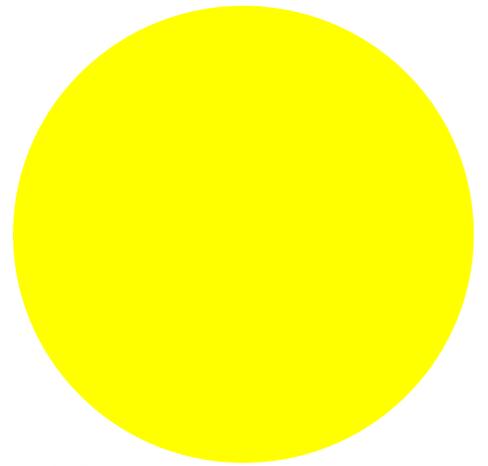
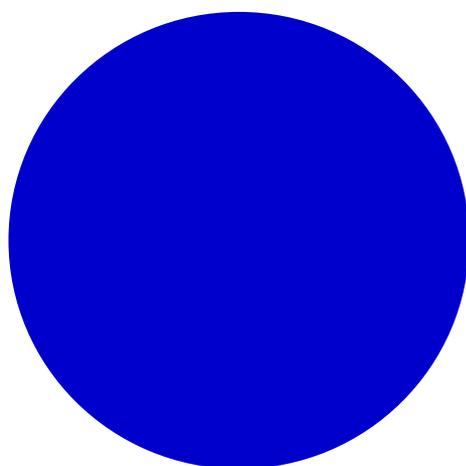
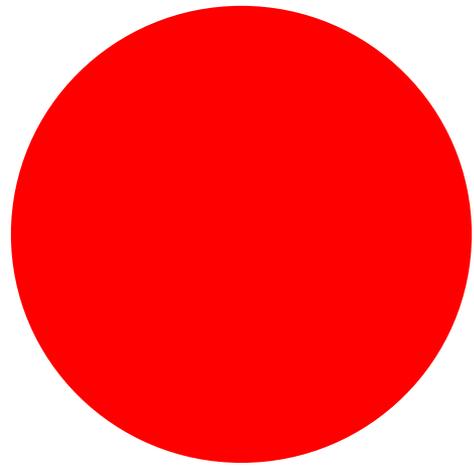
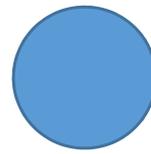
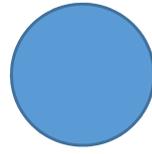
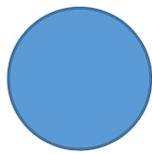
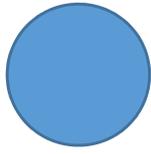
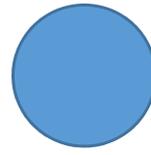
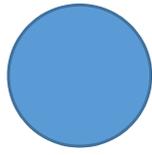
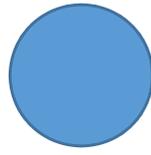


1. 印刷する
2. 外側で切る
3. ラミネートする
4. 外側で切る
5. 折る※

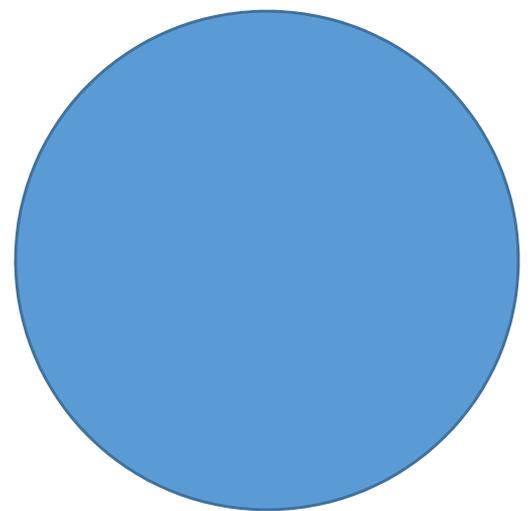
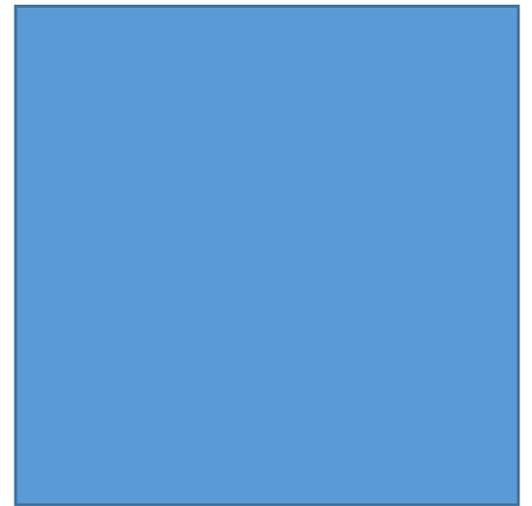
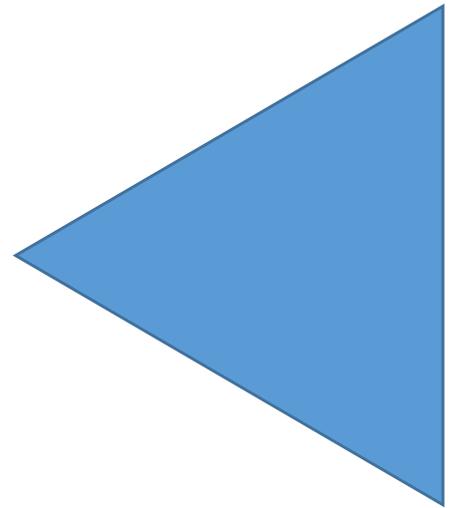
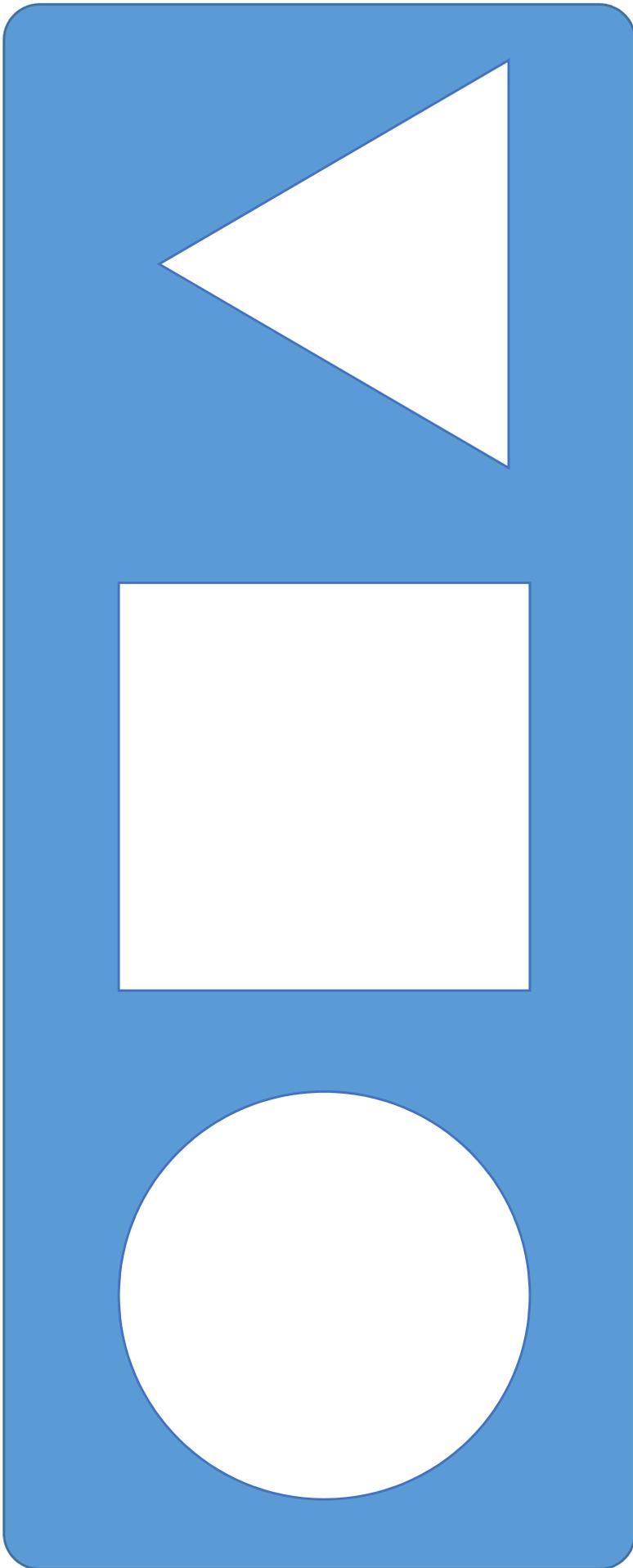
※先のとがった金具で裏面に折り目になぞると折りやすい

6. A・Bに面ファスナーを貼る
7. A・Bを貼り合わせるとできあがり





※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。



※個人または事業所・学校(教室)、地域の実践の範囲内で活用してください。研修等のご利用はご遠慮ください。
※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』又は『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』を参考に活用してください。